

あるじなき家に
お伽噺や唱歌會
を開いて愛兒と陸が樂しい生活振る
城ヶ島の美しい追憶
平南内務部次長 平井柳子さん

見ゆるる時も良し、私共の
 小学時代は貧乏な形にはまつた蓋
 ばかりでしなつたが、是も子世
 のする體に任せて居ります。

秘は海も山も、彼方へ移りて御座います
 の、或るやうな處には、遠く見に
 まい、主入でも居りましたら、都合
 す。(喜圓は初子夫人)



病でも命を奪はれる

[illegible]

願書提出は八月二十五日迄

[illegible]

として手術で眼球を摘出された二十八名の愛國者があつた。此の内府立仁川病院から出た四名志願者は何れも合格の喜びを憶ふに切れたが、さう言ふだけで

[illegible]

「あれ襦の目のやうだ。猫むなぐ。當時水原にあつて東孫の

他人六人焼死し七十五人又中世の
政経せられしもの百七十一頭食し
頭を第一とし成筑北道の四十五頭
盛保北道の三十九頭築前道の三十
頭

畚に七八、五十頭並等にして
畚に採く

服の手入と修繕の講習會

[illegible]

ある落で時日は、日午九時
に達人會常寄着は、本町三の五
軒數寄會へ申し込されたしと
藤本腰が三日夜から四日の
すて市内萬動遊樂明燈に當

意片山内科醫院
 隨入
 電話
 九五一
 信一
 夫

大飯支店では先づ其の陣容に就いて従来の支配人態度、夜役の井村大郎氏、目し海、専長に就任し、全然仕事を二、三

何人の嗜好にも適し
消化極めて容易にて
忽ち血となり力となる

カルシウムを合ひさらく

[illegible][illegible]

此際光緒廿九年
五月丙寅
代金明
前金注文
金注文
送料
七錢
振發
六四
六八
番
一厘
百圓
にする
秘法
一冊
附
八冊
無
添
州
進
呈
好文

〇六二二 眞穴啓書

甘き葡萄酒の
一杯を召せ
少く苦きと云
村人拳王夫
兄弟商會
東京
電話
一三八
〇七八

一初
杯
召
せ
少
く
苦
き
と
云
村
人
拳
王
夫
兄
弟
商
會
京
東
電
話
一
三
八
〇
七
八

獅子の群
 第五回
 目次
 京都・山崎町
 丁目六番地
 天眞堂ヨリ
 西二至ル角
 完結

絶対^{ぜったい}に腐敗^{ふはい}の虞^{おそ}なく
使用^{しやうもど}最も簡便^{かんべん}にして

粉^{こな}末^{こな}純^{じゆん}乳^{にゅう}
 粉^{こな}末^{こな}純^{じゆん}乳^{にゅう}

ハムの特全
ルトレ獨特の大笑劇
社新影
明三村十代子主演
谷風 全五巻

昭和の交り、太り非置な物館であつた
 出典 登劇主
 セメント汽船沈没
 夏、日本橋區本町三丁目

Page 10 of 10

一治松平

